

群馬県立富岡実業高等学校 学校評価 一覧表 ① (令和4年度版)

(様式1)

羅 針 盤			方 策	第1回 点検・評価			第2回 点検・評価		
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等	改善策	自己評価	外部アンケート等	改善策
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①各学科コースの専門教育に生徒の85%以上が満足している。	ア 課題研究・実験実習と普通科目と専門科目の座学など授業の改善を図り、基礎知識、専門的知識や技術・技能を何度も繰り返し身に付けさせる。また外部機関等との連携により、積極的に先端技術を体験させる。	A	A	コース・部門別や選択科目などの授業に生徒の90.9%が満足している。外部機関等との連携を積極的に実施して、先端技術の導入と授業形態の工夫・評価を改善していく。	A	A	少人数制での授業形態を生徒の96%がその効果を認めており、保護者も97%が専門教科の指導内容に満足している。さらにICTによる授業改善を推進する。
		②地域貢献活動に積極的に参加し、その活動を評価する生徒が80%以上である。	イ 地域貢献として、富岡市や地域の小・中学校、各種団体との連携・交流を行い、HPの情報発信をする。活動では、普通・農業・工業の全科が協力で推進する。	A	B	地域交流・連携の大切さを考える生徒は91.5%、参加した又は予定している生徒は41.7%でコロナ禍の影響を受けている。活動を継続し、平常時に生徒が参加しやすい形態を模索する。	B	B	地域交流活動の実働として生徒の70%が回復していると感じており、保護者の95%が生徒の地域交流活動において、コロナ禍影響下であっても評価している。
		③自分の学校が好きだと感じている生徒の割合は80%以上である。	ウ 各部活動・農業クラブ・生徒会・研究部活動で生徒が意欲的に参加できる行事等を工夫する。また、基礎・基本を重視して、双方向で学べる学習活動を充実させる。	A	A	富美を選んで良かったと回答した生徒は94.5%、保護者は94.8%である。行事に満足している生徒は、91.9%に達し、各部との連携が動き出したことから、生徒の活動も徐々に平常に戻し、活動の充実を行う。	A	A	富美を選んで良かったと回答した生徒は94%、保護者は96%となっている。行事に満足している生徒は昨年より10%増えて93%になり、文化祭、修学旅行の実施出来たことが大きい。富美の教育活動の内容をさらに充実させたい。
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	④「授業がわかりやすい」と、生徒の80%以上が答えている。	エ 生徒の特性、学習状況や理解度等を把握したうえで、授業改善に取り組む。学力定着に課題のある生徒、成績不振者への指導を充実させる。	A	A	多くの生徒が授業に満足しているが、「昨年同様」ではなく、常に授業改善を心がけより分かりやすい授業を工夫する必要がある。	A	A	90%以上の生徒・保護者が授業に満足しているが、学力定着に課題のある生徒や成績不振者への指導を改善し充実させる必要がある。
		⑤資格取得に向けた指導に、生徒の85%以上が満足している。	オ 生徒・保護者に対して資格取得の意義を伝え、上位の資格取得を目指し補習等を活用して受験率と合格率を高める。	C	C	資格指導は十分であるが、資格取得への取り組み方や上位の資格に挑戦する気持ちの育成が必要である。	B	B	現状での指導に生徒・保護者は十分に満足している。今後は上位の資格を目指す意識付けが必要。
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑥意欲的に学習に取り組んでいると自己評価している生徒が80%以上である。	カ 授業規律の確立を主軸に、主体的・対話的な学びの導入やICTの活用等によって生徒の意欲を引き出す指導を実践する。	A	A	90%以上の生徒が学校での学習活動に意欲的に取り組んでいる。今後も授業改善を図りながら、生徒の意欲を引き出す指導を実践する。	B	A	90%以上の生徒・保護者が授業に満足しているが、学力定着に課題のある生徒や成績不振者への指導を改善し充実させる必要がある。
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑦自己の目標に応じた学力を身に付けたと自己評価している生徒が各学年70%以上である。	キ 授業・家庭学習・朝学習・補習等で基礎学力を向上させる。将来の進路目標に向け基礎基本の習得、資格取得および生きて働く専門性を身に付けさせる。	B	C	目標を持つ生徒は80%以上いるが、家庭での学習習慣が身につけていない。家庭で取り組む宿題や課題などを工夫する必要がある。	B	A	現状での指導に生徒・保護者は十分に満足している。今後は上位の資格を目指す意識付けが必要。
		⑧組織的な指導のため、生徒の情報交換を月に3回以上行っている。	ク 職員会議や学年会で生徒に関する情報交換を緊密に行い、生徒の状況把握と情報の共有を図り、問題行動やいじめ問題の未然防止に努める。また、職員全体であきらめない指導を行う。	A	-	職員会議や学年会議において情報交換をおこなう習慣ができてきたと感じる。情報交換から組織的な指導に繋げていきたい。	A	-	生徒の情報交換を職員会議や学年会議において実施することが定着してきている。生徒の状況把握と情報の共有を図り、職員全体で様々な問題の未然防止に努める。
		⑨いじめをしない許さない態度を身に付け、いじめ防止活動に主体的に取り組む生徒が80%以上である。	ケ 生徒会と連携して、生徒主体のいじめ防止活動に取り組む。全生徒が参加する標語づくり、生徒目標の立案を通して、いじめ防止活動に参加する意識を持たせる。	A	A	いじめ防止活動やいじめ防止についての指導を継続していく。保護者にも見える形の活動を検討する。	A	A	生徒主体の「いじめ防止活動」を進んで実践していると答えた生徒が94%だった。生徒会が中心となり「いじめ防止活動」をさらに工夫する。
5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的にを行っていますか。	6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑩欠席率が1.5%以下、遅刻率が0.5%以下である。	コ 進路実現を見据えた指導を行い、家庭と連携を取りながら、基本的生活習慣の確立や原因究明に努める。	C	C	欠席率が1.7%・遅刻率が0.6%である。欠席の原因を調査し、きめ細やかな対応を努める。	C	C	欠席率1.7%、遅刻率0.6%となった。職員間の情報共有と併せて家庭や関係機関と連携し状況改善に努める。
		⑪毎日朝食を摂るなど、健康に留意した生活を送るよう意識している生徒が80%以上である。	サ 規則正しい生活を送るために、スマートフォン等の利用についても関係機関と連携して指導する。	A	A	引き続き基本的な生活習慣の確立を目指し、家庭と連携していく。スマートフォンの利用方法を定期的に考えさせる。	A	A	規則正しい生活を保護者と連携して働きかける。スマートフォン等の利用について引き続きの課題であるので関係機関と連携して指導する。
		⑫進路に関する行事が進路選択に役立っていると評価する生徒が85%以上である。	シ 進路講演会、進路相談会、インターンシップの内容を工夫し、進路意識の高揚に繋げる。	A	A	今年度はコロナ禍の中ではあるが、インターンシップ、進路講演会等を実施することができた。生徒の進路希望に沿った進路行事を計画していく。	B	A	進路に関する行事に積極的に取り組み、進路意識が高まってきていると感じている。進路決定に役立つ行事や講師を精選し生徒の意欲にこたえていく。
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑬自己の適性を理解し将来の職業との関連について考えている生徒が75%以上である。	ス 適性検査や基礎力診断テスト等の結果を効果的に活用するための研修会等を充実させる。外部の人材を有効に活用し、内面の刺激を図る。	A	A	昨年度から基礎力診断テストを年2回実施し普段の学習成果を知り学習にフィードバックできるようにしている。適性検査等を活用し自己理解を深める指導を充実していく。	A	A	今年度は職業レディネステストの分析を外部に依頼し、分析結果をカラーチャートにより表示し見やすく改善した。進路について早くから取り組ませて、ミスマッチをなくす。
		⑭挨拶やコミュニケーションを進んで行き、進路実現に向けて積極的に取り組んでいる生徒が80%以上である。	セ 学校生活を積極的に送り、体験活動等に参加させる。自ら目標を立て主体的に進路学習に取り組む姿勢を育てる。	A	A	挨拶の励行、進路手帳の活用などにより、コミュニケーション能力の伸長をはかり主体的な態度を育てていく。	A	A	挨拶や礼儀を積極的に行っている生徒は96.9%と高い。普段の授業や行事を通してさらにコミュニケーション能力の伸長を図っていく。
		⑮PTA活動や学校行事等に1回以上参加している保護者が70%以上である。	ソ 保護者が参加しやすい機会として、PTA総会や各科・各学年単位での行事等を検討し魅力化を図る。	A	A	80%以上の保護者が参加または参加を予定している。授業公開や進路講演会の充実など保護者が関心を持つような内容を検討する。	A	A	コロナ禍で多くの制限があるにもかかわらず、約80%の保護者が学校行事に参加したと解答した。今後は保護者の関心を高めるような内容の検討とともに、保護者への確実な情報提供を図る。
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑯授業公開、学校からのメールや配付物、ホームページの閲覧等を通じて、保護者の80%以上が学校の様子を理解できている。	タ 授業公開を年3回実施、ホームページの更新と積極的な行事・結果報告、学校通信の発行及びGSNメールで学校情報を積極的に発信する。	A	A	GSNメールでの積極的な情報発信だけでなく、各種行事や部活動の様子を今後もホームページをとおして発信していく。また、内容の更新も速やかに行っていく必要がある。	A	A	90%以上の保護者が学校の様子を理解できている。今後も同様の取り組みを進めるとともに、ホームページに関しては内容の更新を速やかに進める。
		⑰ICTを活用した授業に、生徒の80%以上が満足している。	チ ICTを効果的に活用するための研修会等を充実させる。また、授業アンケートにおいて新たに項目を設定し、随時点検する。	A	A	保護者・生徒ともにICTを活用した授業には満足している。ICTの研修会を充実させ、授業改善を図り、さらに授業を工夫する必要がある。	A	A	90%以上の生徒・保護者が満足している。今後は教員間の温度差解消を目指し、情報交換や研修の充実を図る。
		⑱ICTを活用した通知に、生徒・保護者の80%以上が満足している。	ツ ICTを活用し、保護者・生徒へ連絡やアンケート等を実施する。	A	A	ICTを活用した通知に多くが満足している。さらに有効活用できるよう、研修会等を充実させたい。	A	A	生徒・保護者は満足している。さらに活用できるように研修を充実させ、業務改善を図る。